柿収穫農業体験会

久留米市社協のマイクロバス

農業体験に乏しい都会の子ども達と大人に、農業体験の機会を提供し、生産の実際・食の共有と食育・食品廃棄の低減・高齢化する農家への労働支援・体を動かすレジャーなど多目的な事業として、2018年から始めたフードバンクくるめと『みのう』農民組合の共催の柿（富有柿）の収穫体験会を2019年度は３回（11月16・23・30日土曜日）開催しました。 昼食は、フードバンクくるめと参加者で温かい豚汁と羽釜ご飯を準備しました。

団体として、安武子ども土曜塾、宮ノ陣子ども食堂『ひこうき雲』、それに個人・小団体など延べ人数で子ども83人、大人33人の総計116名でした。230kgもの柿をフードバンクに寄贈していただきました。

最初に収穫の要領を教わる

フードバンク
くるめ

収穫作業

昼食風景＠作業小屋

昼食風景＠柿農園

まかない風景

羽釜ご飯と具沢山の豚汁

フードバンクが頂いた富有柿

農業と田舎遊び体験会

2019年十連休の中日５月２日と３日の１泊２日、うきは市にて、フードバンクくるめ・安武子ども食堂・みのう農民組合共催の農業体験会＋田舎遊び　は佐々木農園さまの全面的協力で実施しました。

赤ソラマメ、スナップエンドウとキヌサヤエンドウの摘み取り作業や、近くの山春小学校の環境の良い広い校庭で遊具やボール遊びをして、夕刻には羽釜のご飯のおにぎりとバーベキュー、大人はアルコールを交えて懇親を深めました。夜は離れで寝袋にくるまり、昼間の疲れでぐっすり。

翌日には、おにぎり、自家製パン、みそ汁の朝食後、エンドウの摘み取りを行い、昼はソーメン流しとスイカ割りを楽しみました。午後、片付けを済ませ現地解散を致しました。

通算参加者数は、大人19名、子ども30名の合計49名。大勢で押しかけたうえ、大した農作業の助けどころかお邪魔になりましたが、大人も子どももきっと素晴らしい想い出になったと思います。

エンドウ豆の収穫

BBQの夕食